

から冠雪害に関する文献を借用した。殊に富山地方気象台鶴岡保明台長・小池富治防災業務課長・中川三郎前富山地方気象台長・建設省黒部工事事務所平田健調査課長・長谷川才次郎調査主任・富山県林業試験場伊藤徳治場長・野越恒雄造林課長・平英彰主任研究員・北日本新聞社明石志行の諸氏のご協力を得たことを記して、深く謝意を表する。また、稿をまとめるにあたってお世話になった当館の布村昇、文献面で協力を得た石坂雅昭・黒田久喜、作図した高原佐代子の諸氏に御礼を申しあげる。

なお、この報文の概要は昭和56年度日本雪氷学会秋季大会において発表したものである。

文 献

- 舟田久之(1981), 56年大雪の降雪状況について, 日本雪氷学会シンポジウム資料
 小山博(1981), 天文天気図日記・天文と気象 3月号 Vol.47
 中川三郎(1982), 56豪雪と38豪雪, 富山地学会編, 豪雪, 古今書院
 林野庁(1957), 昭和31年北陸並びに本州中部に発生した森林の気象災害調査報告書
 高橋喜平(1952), スギの冠雪について, 林業試験場研究報告54
 富山県(1981), 富山県における雪に関する調査

短 報

Neolitea sericea KOIDZ. (シロダモ)の天然林の記録

長井 真隆

富山市科学文化センター

Cyclosorus acuminatus NAKAI (ホシダ)の記録

長井 真隆

富山市科学文化センター

魚津市大海寺野にある。角川下流に出合う小さな谷(通称宮津の谷)で、市街地の近くにある。俗にアオガシの林と呼ばれている。大森行雄(魚津市教育センター所長)・吉崎幸信氏らの案内で確認した(1981・6・24)。

シロダモは決して珍しい植物ではない。ヤブツバキクラス域の標徴種で、群落を見ないのが普通であるが、ここでは群落を作っている。また、この林や隣接したスギ林には、ゴンズイ・ナンテン・モチノキ・カラタチバナ・オモト・ホシダ・タチシノブ・カニクサなどの暖帯性の植物が見られる。構造・組成等については機会をあらためて報告する。

ホシダは富山県西部で比較的多く確認されている。福岡町五位山(小路登一)・同町烏倉・高岡市頭川(以上大島哲夫)・氷見市海岸丘陵地などである。県東部では分布は少なく富山市呉羽山(大田弘)での確認があるのみである。今度、魚津市で採集したので報告する。

採集地: 魚津市大海寺野

年月日: 1981年8月11日

採集者: 小路登一・長井真隆